

目標達成計画

作成日: 令和元年12月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	44	頑固な便秘者の増加、排便の量が少ない。	腸の活発化、薬の服用に頼らず便通をよくする。	二日に一度朝食にヨーグルトを提供する。お腹のマッサージや便秘予防の体操を行う。	12ヶ月
2	41	水分量確保の支援。	水分摂取量の不足を解消する。	個々に給水ボトルを用意し、こまめに水分を取っていただく。濃い緑茶、スポーツドリンクなど味を変えて楽しみながら摂取できるようにする。	12ヶ月
3	49	外出の機会が少なくなっている。	体調を考慮しつつ、月に2~3回の外出できるように支援する。	地域の行事への参加。散歩、買い物、喫茶店など外出の機会を設ける。外出困難な時は外気浴で気分転換をしてもらう。	12ヶ月
4	40	嚥下体操を継続していく。	唾液の分泌を促し、口の渇きを防ぐ。	口腔周囲の筋肉のストレッチ運動、唾液分泌のマッサージ運動を食前に行い、唾液の分泌を促し食べ物がスムーズに飲み込まれるようにする。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。